

主要ニュース

第2期生29名が成果発表会で事業プランを発表



2月28日(土)にRIPSの成果発表会が行われ、第2期生29名が半年間にわたって精魂込めて開発した事業プランを披露しました。

塾長の藤本教授は、イノベーションを実現させるためには良い事業プランをつくるだけでなく、それを銀行や多くの協力者に伝えて納得してもらえらるプレゼン能力が重要であると挨拶をしました。成果発表会には、推薦機関、紹介機関、サテライトの関係者が多数参加し、塾生たちは緊張した表情で発表に臨みました。一人7分間の発表の後、実践ゼミ担当のコーチによるコメントとねぎらいの言葉が続きました。

驚くべき事の一つは、数名の塾生が、既存の業界において隠されてきた固執的な問題やお客様のことを無視してきた企業側の安易な行動を明確に言葉にし、それをイノベーションによって打破しようとする新事業を構想したことです。また、計画段階に止まらず、すでに事業の実現に向けて一歩も二歩も踏み出している塾生も数名いました。震災復興への情熱と覚悟が着実な一歩へとて実った事業もありました。試作品あり、試食あり、紙芝居あり、パフォーマンスありの感動的な一日でした。塾生一人一人が自分の努力と作品に静かに感動し、RIPSのスタッフとコーチ、そして半年間一緒に励まし合い切磋琢磨してきた仲間たちに感謝していました。ロンドン出張中の上條太郎

コーチよりビデオレターが送られ、担当した塾生の一人一人に対して丁寧なコメントが述べられました。最後に、事業プラン作成を統括指導してきた板垣良直特任教授は、「自分の事業プランが世界へと飛躍できるものになっているかどうか、自分で感じたはずだ。塾生全員のそれを総合したものがそのまま今日の総評である」と締めくくり、今後も怠らず努力し続けてほしいと激励しました。 **RIRC総括プロデューサー・権奇哲**

2015年度プルデンシャル財団助成金、3月下旬より募集始まる



プルデンシャル財団助成金は、創刊号でも記したとおり、米国プルデンシャル財団からRIPS卒塾生の事業化を支援することを目的に2014年度から3年間、約1億円(年間約3000万円)提供されるものです。昨年度は3名に対して合わせて2800万円が助成され、新事業のための技術開発、製品開発、企業立ち上げ等の資金として活用されています。また、採択された事業は、RIPSの重点支援対象事業として選定され、採択後3年間にわたって、年4回の定期的な指導及び専門家を交えた数回の臨時指導など、事業計画の実現に向けての様々な指導を受けることができます。

2015年度募集の詳細については、3月下旬にRIRCのホームページに掲載される「2015年度プルデンシャル財団助成金募集要領」を参照して下さい。応募においては、RIPS卒塾生が実施責任者となった事業であること、訴訟や法令順守上の問題を抱えていないこと、既存事業の単なる拡大ではなくイノベーション及び新たなビジネスモデルにより需要や雇用の創出に資する事業であること等の条件を満たす必要があります。応募事業に対しては、事務局による書類審査(第1次審査)、その通過者に対して外部審査委員会(委員長:守本東北経済産業局長)による面接審査が行われ、最終的に3~5件の採択事業及びそれぞれの採択事業に対する助成金額が決定されます。RIPS卒塾生ならどなたも応募することができますので、飛躍の大きな一歩として卒塾生の皆様は奮ってご応募下さい。 **RIRC地域連携室長・富澤辰治**

募集対象	RIPS卒塾生(0期生~2期生)
募集案内の掲載	2015年3月下旬にRIRCのホームページに掲載
応募期間	2015年4月13日(月)~4月22日(水)
審査方法	第1次審査:書類審査 第2次審査:外部審査会による面接
助成内容	3~5事業に対して各1000万円以内、採択後3年間の重点支援

2015年度RIPS第3期生募集の方針



このたびRIPS運営スタッフに加わり、主に塾生募集において推薦機関との打ち合わせや優秀な塾生の発掘のための業務を担当させていただきRIPSプロモーターの池谷です。来年度の塾生募集方針について2月10日に開催されたRIPS運営会議の中で議論されました。来年度も、RIPSではイノベーションを志し、本気で事業計画を策定する覚悟をもって入塾してくる塾生を募集します。従来との変更点については次の通りです。

【推薦機関を6機関に拡大】 既存の商工会議所青年部と宮城県中小企業家同友会に加え、花巻信用金庫、石巻信用金庫、会津商工信用組合、福島県中小企業家同友会(会津地区)が推薦機関となります。私やRIPSのスタッフが推薦機関からの推薦候補者たちへ来て、塾の詳細について事前説明会を開催し、理解を深めていただいてから入塾していただくことになります。

【従来の紹介枠をなくし、RIPS独自の優秀塾生発掘を強化】 来年度は従来の紹介による募集を廃止する代わりに、RIPS独自の塾生発掘活動を積極的に行います。独自開拓は、金融機関から紹介される入塾希望者の中から事前面談を行っての推薦、およびRIPS教員や実践ゼミ担当コーチによる推薦という形で行われます。

※来年度の募集案内:4月上旬にRIRCのホームページに掲載予定
募集人数:推薦募集と一般公募あわせて、40名以内 **特任教授(客員)・池谷昌之**

塾生・卒塾生の現在

2期生 豊川進 (株)伸和光機



RIPSに入塾し、講座の回を重ねる毎に仕事への取組みに大きな変化がありました。これまでの経験値で、直感的かつ場当たり的な思考による問題解決から、時にはマクロ的に、時には客観的に多角的視点による問題分析を心掛けるようになり、PDCAを自然と構築するようになったことは、本気で学べば本気で応えていただけの講師陣やスタッフの方々、すばらしい同期に出会えたことで、自身に変革を起こせたことと実感しています。

0期生 五十嵐弓貴 (株)ダイゴ



卒塾して3年目になり、私自身も事業も一歩一歩と成長している実感があります。卒塾時の事業プランに基づいて、今年の2月より会津若松市の腎透析クリニックと自社の管理栄養士による健康管理(栄養指導)を毎週2回実施するようになり、事業プランを実現できたことはとても自社の強みになっています。この事業プランが本格的に1つの事業としてしっかり確立できるように日々の業務に努めていきたいと思えます。

OBの研究会報告



経験デザイン研究会(EDS)では、2ヶ月に1回、権奇哲教授の提唱する「経験デザイン」能力の向上を目指して勉強しています。「経験デザイン」は新しい経験の原型を提案することが飛躍のイノベーションにつながるという考え方で、従来とは異なる新事業創出の手法です。オープン型なのでRIPS塾生のみならず現役の大学院生や一般企業の方も参加しています。2月6日(金)に行われた第4回研究会では「時代の定義」視点による経験デザインについて、権先生の熱のこもった分かりやすい講義のあと、様々な質問や活発な意見交換が行われました。 **OB会 EDS幹事・小池康浩**

事業実践研究会(BPS)は、経営者ネットワークとして人とのつながりを広げるためのツールとなる研究会であり、会員企業の事業を題材に事業活動に必要な情報・資源・支援へのアクセスと思いがけないアイデアを広く得る場です。昨年10月行われた第1回研究会では、1期生の阿部章氏と櫻井鉄矢氏が事業の現状について発表し、参加した会員から様々な質疑と意見が飛び交い、大変有意義な時間となりました。今後も相互研鑽の為に定期的に開催して参りたいと思えます。 **OB会 専務理事・福田大輔**

【今後の研究会開催予定】

第5回 EDS	4月3日(金) 18:30	わかりやすい原型思考、権奇哲先生
第2回 BPS	3月5日(木) 18:30	発表:0期 青木聡志氏、1期 今野英樹氏